

SDGs宣言書

墨田区長 様

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

<宣言日・変更日> 令和5年5月12日

企業・団体名：株式会社 大関鞆工房

代表者 役職：代表取締役

氏名：大関 敏幸

記

|  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| <p>事業者・団体等としての2030年までのあるべき姿</p>  | <p>当社では、細部にこだわったデザインと、革漉きから縫製にいたるまでのすべての工程において手間を惜しまず、使いやすく愛着のもてる”ものづくり”を続けてきた。大量生産、大量消費をするのではなく、いただいた命に敬意を払い、無駄なく革を使うこと、愛着をもって永く愛用してもらえる作品に仕上げること、革のお手入れや修理にも寄り添い、お客様と共に作品を育てることをこれからもずっと続けていきたい。</p> |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| <p>・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）</p>  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ○  |   | ○ |    | ○ |    | ○ |    | ○ |    |   |    |
|  |   | ○ |  | ○ |  |   |  | ○ |  | ○ |  |
|  |   |   |  | ○ |  |   |  | ○ |  |   |   |
| <p>・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。</p>  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| <p>昔から、鞆や財布などをつくった際に出る革の端切れを使って、ペンケースやメガネケース、コインケースやキーホルダーなど、たくさんヒット商品を生み出してきた。時代の変化と共に、過去には必要ではなかったけれど今求められているものは何なのかを常に追い求め、新しい商品も開発していきたい。また、弊社ではこれから生きる子どもたちに職人体験をする機会を多く設けている。日本のものづくりを体験することで、よりよい世界をつくっていくにはどうすればよいのか共に考え、試行錯誤を繰り返していきたい。</p> |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| <p>SDGs達成に向けた特徴的な活動</p>  | <p>北海道十勝地方で害獣駆除されているエゾ鹿の革を用いた商品作りを行っている。牛革をはじめ、多くの原材料を輸入に頼っている日本にとって地域資源の有効活用は重要課題である。「駆除 食肉 皮の活用」の中で、弊社はこの革を有効活用した鞆や革小物づくりを、他団体と連携をとりながら取り組んでいる。</p>  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| <p>宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）</p>   | <p>エゾ鹿の革を活用した作品を現段階の作品数の2倍創作する。</p>  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| <p>業 種</p>   | <p>その他 その他:皮革製品の企画、製造、卸、販売</p>   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| <p>所 在 地</p>   | <p>〒 130-0021<br/>墨田区緑2-13-5</p>   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| <p>U R L</p>   | <p><a href="https://squeeze.ne.jp/">https://squeeze.ne.jp/</a></p>   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |